

普及現地情報

発信年月日：平成 28 年(2016 年)7 月 28 日
所 属 名：湖東農産普及課
番 号：F16007
部 門 分 類：340 鳥獣害対策
発 信 者 名：中嶋 木村 改田

簡易獣害防護柵「おじろ用心棒」展示ほを設置

愛荘町岩倉集落は、山際に侵入防止柵が設置されているものの完全な防止柵の設置が困難なことからサルの侵入が増えてきており、農作物への被害が拡大してきました。そこで、簡易獣害防護柵「おじろ用心棒」の展示ほを設置し効果の確認を行うとともに、集落ぐるみの獣害対策の取り組みを進めました。

当集落は昨年度から集落環境点検を実施してサルの侵入経路を確認するなど、集落ぐるみでの対策が必要との共通認識を持たれました。

去る5月22日には、獣害対策勉強会でサル被害軽減対策の一つとして、多獣種対応した簡易防護柵「おじろ用心棒」の展示ほの設置を提案し、効果の確認を行なうこととなりました。

7月28日には、集落自治会の協力のもと「おじろ用心棒」を設置を行いました。

集落ではサル被害が拡大し、野菜の栽培はほとんどされず「おじろ用心棒」に対する期待が高まっています。

今後は、集落によるサルの出没記録記帳と、トレイルカメラによる記録で侵入防止状況の確認を行いながら効果検証を行っていく予定です。



住民の手で設置されるおじろ用心棒